



2013年11月11日

会員卓話 『私の業界』

小篠ゆま 会員

YUMA KOSHINOを立ち上げ、足かけ15年、年2回のコレクション発表を主に、現在はライセンス契約のブラックフォーマル、ユニフォームのデザイン、また、舞台や映画の衣装デザイン等を手掛け、充実した日々を過ごしております。

今年10月に発表した2014年春夏コレクションでは、「Minimal Baltic」をテーマに掲げ、北欧バルト三國であるスウェーデン・フィンランド・ノルウェーの美しい色合いとグラフィックをモダン且つエレガントに表現しました。現在、既に2014秋冬コレクションに着手しています。

トレンドが錯誤するコレクション発表とは対比的なのがユニフォームデザイン。ユニフォームとは、建築デザインのように長く世

の中に存在し、企業アイデンティティの役割を果たす為、沢山の検討事項と制作期間を要します。企業理念と社員の方々の思いをデザインで表現し、長く愛される環境デザインとして完成させます。

日々、それぞれの現場で課題に直面しては乗り越えの繰り返しです。

一つ一つ手をかけた物作りと感性のエネルギーを、デザインを通して皆様に伝えていきたいと思っています。今後もデザインの追求は止みません。



小笠裕子 会員

私の事務所の顧問先は主に法人ですが、経営者の方々からの相談は、主に事業承継・相続に関する事が中心です。

相続に関する提案をするのは、特に気を遣います。人それぞれの生き方、考え方が違いますから、「節税の事だけを考えて動きたくない。」と、嫌な顔をされる場合もあります。しかし、相手の立場になって、その方の考え方を考慮しタイミングを計りながら、その上で思いついたことは、どんどん提案すべきだと思っています。「余計なお世話だ。」と言われたら、「はい、そうですか。」と引っ込めれば良いのですが、「もっと早くに教えてくれていたら。」と言われたら、取り返しがつきませんから。

税理士法人という新しい業務形態が創設され約10年が経ち、税理士法人は年々、数の増加とともに大型化が進んでまいりました。

私達個人の税理士事務所にとりましては非常に厳しい状況ですが、大手税理士法人はスタッフが大勢いる分、法人税・所得税・資産税等、税目により仕事が分散化され、数年で担当者が変わることが想定されます。

中小企業の顧問先にとりましては、私のように長年関与させていただき、会社の歴史から経営者の方々の考え方、家族構成やその健康状態、周りをとりまく状況、総務・経理スタッフの力量等を知り尽くしている税理士だからこそ、アドバイス出来る事がある。と自分に言い聞かせて、日々努力いたしております。

